

コロナ禍における公民館活動座談会

～チャンスととらえ、前向きに～

令和2年
8月31日



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,796人
男子 3,305人
女子 3,491人
世帯数 2,587戸
(2年8月末現在)

新型コロナウイルス感染症が世の中で騒がれ始めてから半年余り。依然として世界的に感染拡大傾向にあり、国内も「第二波」の様相を呈しています。県内でも感染が拡大していますが、幸いにも当地域では新たな感染者が七月に一人発生のみという状況です。

このような状況の中で公民館活動も事業や会議の中止や縮小を余儀なくされています。今回は、館長と各委員長にコロナ禍における公民館の現状と今後の展開について意見をお聴きしました。

テーマ 「事業の現状と今後」

司会(以下同) コロナが発生してから現在に至るまでと現状をお願いします。

文化(以下文) ふるさとコンサート、人形劇フェスタのビッグイベントが中止となった。

ふるさとコンサートは演奏者が県外の方なので万が一のことを考え、やむを得ず中止とした。

人形劇フェスタは飯田市が中止と判断し、その方針に従った。

子供達も楽しみにしていた、委員としても大変だがやりがいもあるイベントでもあるので、やり方を変えてでも出来なかったのかという思いと世界中から集まるので開催は厳しいという思いをもった。

文化祭については、スタッフでも何回も検討し、中止にするのではなく、開催の方法を考えてきた。その中で第一波、二波と流行が広がり、時期をずらして何とか開催出来ないかと、企画委員会でも検討していたが、何よりも安全を考慮して中止とした。

中止にするのではなく、開催の方法を考えてきた。その中で第一波、二波と流行が広がり、時期をずらして何とか開催出来ないかと、企画委員会でも検討していたが、何よりも安全を考慮して中止とした。



～座談会参加者～

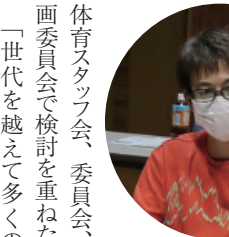
伊東 公民館長
下田 企画委員長
(時又分館長)
久保田 文化委員長
塩澤 広報委員長
司会 宮島 広報委員



文化委員長



広報委員長



企画委員長



館長

テーマ2 「コロナをチャンスととらえる」

司 今のところは、新たに感染する人もでていないが、全国的にはすでに第二波の中にいる。コロナに対しての、警戒する意識レベルが違ふ事を実感する中で、必要以上に怖がってしまいが、主催者側となると別。正しい知識を持つ事が大事。緊急事態になり、様々な事業や会議が中止となったが、なってみて、これはやらなくてもいいのでは？と感じたものもあるのでは？

企 運動会は中止になって残念だが、選手集めが大変、という思いもある。やっとならざるを得ない状況。

企 企画委員会でも検討したが、人形劇フェスタ、運動会、文化祭、どれも結局「密をさける」となると、残念だが中止せざるを得ない。この状態が続いてしまう。

司 やりたい気持ち、新しいものをと思って「密」が大きな壁になる。公民館活動は何をするにも集まってやらなければならぬ。

館長(以下館) いずれにしても、今までの方法を変えていく事が必要。成人式は飯田市全体の方向性が検討されているところ。結果による。新成人の実行委員会が動き出しており開催されてもさながら活動は続けていきたい。

司 竜丘公民館独自では決められない。飯田市がやる方向で決めて、地区へ任せる可能性もあるかもしれない。厳しい現実が改めてわかりました。

司 色々と中止になって気がなるのはこれを機にやらなくていいという雰囲気になつてしまわないか、という事。行事は行いたいのが心配。何が皆にとっていいか、親睦の場をもう一度考える必要がある。

司 やはり文化祭のような発表の場はほしい。活動していく上でも大切。参加する人も増えてくると思う。

司 なければならぬで、月日が過ぎ、生活はしている。日頃の活動の成果を発表出来ないのはさみしいがなかなか元通りには戻せない。これを新たなチャンスととらえて、新たな事業は？

司 最後に一言ずつお願いします。文化祭は中止になったが、活動を発表する機会を作りたい。広報委員会と協力して館

「チャンスととらえる」というのは「出来ない、出来ない」ではなく「今迄やってきたものをもう一度見直すいい機会」と考える。反省にたつて、新しい考え方を最初の時期。やり出すタイミングとしては絶好。

司 今迄のやり方を振り返り、これからのやり方を考える時期なのですかね。やるものはやめて、新しいものにかえて、負担が増えないように、来年、再来年を見据えて。

文 例え、それぞれの団体の活動を映像化し、DVDで配布、上映するとか、自治会のホームページやYouTubeにアップする等。集客には逆行かもしれないが。

広 発信出来るような機会があるのはいと思う。発信後の反応がほしい。現在、館報でもクイズで発信している。意見などをもりたい。

司 オンライン活用となるとLINEなどインターネット環境の整備が必要となってくるが、飯田市、公民館としてはどう考えているか。

主 飯田市としては具体的な予算はない。竜丘公民館の予算として、LINEが全館で使えるように業者に依頼中。いろいろな事業で使えるのではないかと考えている。

司 最後に一言ずつお願いします。文化祭は中止になったが、活動を発表する機会を作りたい。広報委員会と協力して館

司 最後に一言ずつお願いします。文化祭は中止になったが、活動を発表する機会を作りたい。広報委員会と協力して館

司 最後に一言ずつお願いします。文化祭は中止になったが、活動を発表する機会を作りたい。広報委員会と協力して館

司 最後に一言ずつお願いします。文化祭は中止になったが、活動を発表する機会を作りたい。広報委員会と協力して館

司 最後に一言ずつお願いします。文化祭は中止になったが、活動を発表する機会を作りたい。広報委員会と協力して館

ヤフウ

温暖化の影響か、梅雨明けが八月だった影響か...

毎年七月中に鳴き始めるアブラゼミの声を、殆ど聞くことなく八月が終わろうとしていた。そんな時、テレビから「セミは気温三十度を超えると...」の音が。「羽化しない」「鳴かない」それとも...?

このまま温暖化が進むと絶滅危惧種に!? 気になってネットで調べたが分からず、益々気になり図書館に出かけて調べると、何年も地中で過ごすと思っていた幼虫期間が一年のセミがいることや、七日しか生きられないと思っていた寿命が二週間から一カ月半もあることを知って驚いたが、肝心の三十三度超えの件は分からなかった。

最後の手段!と美博に電話をすると四方先生にお話を聞かせてくれた。セミの発生数は多い年少ない年、毎年違い、温暖化、長梅雨も含め、いろいろな原因をいろいろの人が長い間研究しているが、まだ解明されていない。「アブラゼミの飯田の今年の発生数は調査していないのではつきりとは分からないが、確かに鳴き声は例年より少なかった。アブラゼミは七月中旬〜八月中旬に多く発生するが、お日様が当たらないと鳴かないので、鳴き声が聞かれなかったのは、雨の日が続いていたためだと思われる」とのことだった。

四方先生の解説のおかげでセミが絶滅危惧種になってしまう心配は消え、気がつけば去年「今年は殆ど鳴き声を聞かない」と心配していたミンゼミが、今元気に鳴いている。

それにしても、「三十度を超えると」セミは何だったんだらう...?

まとめ

館長以下出席者の方々は、公民館活動はどうしても「密」になってしまうこと、また、見えないウイルスへの対策の難しさ、事業実施の大きなハードルであることが異口同音に聴かれました。一方、そのような状況を「事業などを見直すいい機会である」「前向きにとらえ、新たな事業を考えていく」というポジティブな方向性についても聴くことができました。

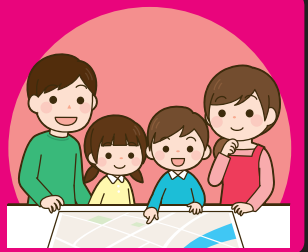
司 最後に一言ずつお願いします。文化祭は中止になったが、活動を発表する機会を作りたい。広報委員会と協力して館

司 最後に一言ずつお願いします。文化祭は中止になったが、活動を発表する機会を作りたい。広報委員会と協力して館

司 最後に一言ずつお願いします。文化祭は中止になったが、活動を発表する機会を作りたい。広報委員会と協力して館

司 最後に一言ずつお願いします。文化祭は中止になったが、活動を発表する機会を作りたい。広報委員会と協力して館

令和2年竜丘防災訓練 8月30日に行われる



訓練を取材してわかった竜丘の防災状況

しつかりと覚えていってほしいと挨拶がありました。その後、各区から十名が参加して、避難者の受入対応、避難所の区分け方法、防災資機材の使用、竹バーテション等を使った簡易区画などの作業を行いました。

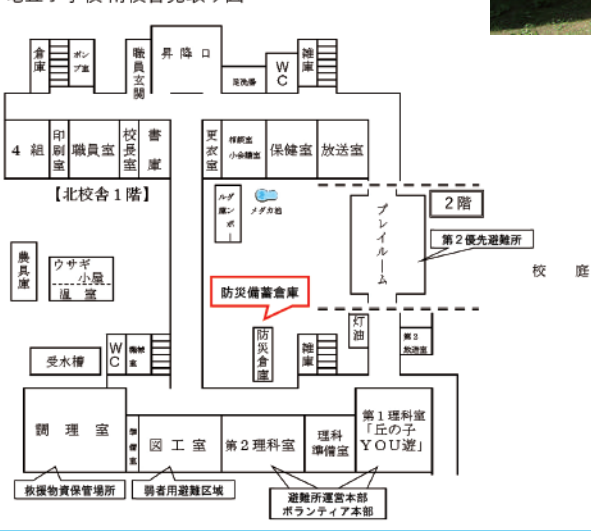
また、デジタル簡易無線機を使用した本部と、各区との情報伝達訓練も行われました。

今回の訓練では想定されていませんでしたが、サンヒルズには、約四百台の車中泊が可能だそうです。本年度は、約五千人が訓練に参加しました。

今年も、地震総合防災訓練が行われました。例年とは違い、感染症拡大防止に配慮した訓練になりました。

最初に、竜丘地区自主防災会会長から、現在の自主防災会の仕組みでは、実際に指定避難所を開設した場合の自主防災会メンバー全員二十名で行わなければならないが、実際には管理・運営をしきれないので各区役員・ボランティアなどの協力が、必要になるのでは

竜丘小学校 南校舎見取り図



日頃は図書館をご利用いただきありがとうございます。お誘い合わせをお願いいたします。

今年はこの状況のため、例年のお話の会、季節の行事ができません。そこで、少しでも多くの皆さん（特に子どもさん）に来館いただける様、「スタンプリー」を企画しました。九月十三日、九月十二日まで、年齢別に3区分し、かわいいカードがいっぱいになるとお



スタンプリーをやってみよう
九月十三日～九月十二日

恒例の古墳まつりは残念ながら中止となってしまいました。が、六年生の埴輪作りは七月に製作、九月十三日に六年生が点火し、野焼きを行いました。

焼き上がるまでの時間が真つ白になる位夢中で削っていた子がいました。毎年古墳まつりに来ていて、楽しみに今年も作れて嬉しいと話してくれました。

埴輪作りの感想では、作るのが難しかったとか、教えてくれる人が厳しかったとも話してくれました。

九時すぎにサプライズ登場

文化祭はどうする？

令和二年度竜丘地区文化祭につきまして、十一月七日（土）、八日（日）の二日間で開催を予定し、実施可否を含め今後の方向性について検討を重ねて参りましたが、新型コロナウイルス収束の見通しが立たない中、例年通りの文化祭を実施することは困難であり、感染拡大防止の観点から今年度の文化祭は中止することに決定致しました。

尚、例年通りの文化祭は中止となりますが、今後予定されている各活動に向けて新

今年もはにわ作り行われる

恒例の古墳まつりは残念ながら中止となってしまいました。が、六年生の埴輪作りは七月に製作、九月十三日に六年生が点火し、野焼きを行いました。

焼き上がるまでの時間が真つ白になる位夢中で削っていた子がいました。毎年古墳まつりに来ていて、楽しみに今年も作れて嬉しいと話してくれました。

埴輪作りの感想では、作るのが難しかったとか、教えてくれる人が厳しかったとも話してくれました。

九時すぎにサプライズ登場



出来上がった作品と記念撮影

令和2年度 あいさつ標語 応募総数 303通
今年度テーマ「人とのふれあい～つながり～」

- 最優秀賞** 6年 林 菜々
「あいさつで 人とのきずな 深めよう」
- 館長賞** 2年 熊谷 笑胡
「あいさつは 人と人の あいことば!!」
- 育成委員長賞** 4年 熊谷 歩美
「あいさつで みんなつながる 笑顔の輪」
- PTA 会長賞** 1年 下平 夏鈴
「たつおかは やさしいつながり あいさつで」
- 優秀賞** 3年 熊谷 陽奈
「あいさつで みんなつながる いいえがお」
- 5年 佐々木 楓花
「おはようが ちいきの人への メッセージ」



受賞された皆さん

昔の竜丘 ここはどこでしょう 前号の答え合わせ



前号②の答え
竜丘小学校



前号①の答え
竜丘公民館



前号③の答え
新川橋



前号④の答え
旧公民館
(現時又ふれあいセンター)



当時の様子

私の思い出 投稿いただきました

竜丘公民館と飯田市消防団第7分団本部詰所は、クイズのヒントの平成十三年の二年後の平成十三年に時より、ここ桐林に新築移転しました。

この場所は以前は果樹園と畑と墓地しかなく何とも寂しい所でしたが、今では竜丘地区の中心地です。

消防団の本部詰所の移転については、私は当時、第7分団の本部役員をやつていま

.....竜丘地区内の昔の風景写真を募集しています。お持ちの方は竜丘公民館までお寄せ下さい.....